

二学期の反省、三学期への抱負

3年3組 柴崎

始まるときは長く感じた四か月。振り返ればあっという間の四か月。この二学期たくさんの方がいました。と言いたいところですが、例年と違いコロナ渦により様々なことが制限された「我慢」の四か月だったと思います。

まず二大行事である体育祭と音楽会。どちらも縮小という形をとり行われました。最後の年だったのすこし寂しく感じましたがクラスで協力し得られた達成感は何にも代え難い、大切な思い出だと感じています。

また、学習面では受験勉強を本格化させて取り組んできました。はじめはやる気が一切起きないときに机に向かうことは苦痛で苦痛で仕方ありませんでした。時には誘惑に負けてしまうこともありました。しかし、毎日机に向かい、苦手とする分野を中心に数多くの問題に取り組みました。さらに模試の結果が良かったときには、もっと伸ばせるところを、たとえ下がってしまっても攻略すべき課題点を探し、学力向上に努めました。コロナで先が見えない不安もありましたが、みんな同じ状況なので冷静に今できることを考えて取り組めたのではないかと思います。

これからの冬休み、三学期は入試に向けていよいよラストスパートとなります。二学期に見つけた課題点を徹底的に潰し、伸ばせるところはさらに伸ばしていきたいです。残り時間はわずかですが、最後の一点まで取りきる力を磨いていこうと思います。今までの積み重ねが春からの笑顔に変わることを信じ、これからも努力を継続していきたいです。